

## ■11月の公開学習会のご案内■

どなたでもご参加いただける公開学習会を下記のとおり開催します。ぜひご参加ください。

開催日： **2023年11月7日(火)11:35~12:25**

話題提供者：**徳川信治さん(法学部教員)**

テーマ：**国際法からみたロシアのウクライナ侵攻**

2023年2月に始まったウクライナへの軍事侵攻。プーチン露大統領はこれを「特別軍事作戦」と呼んで、「NATOの脅威」などいくつかの理由を挙げ、正当化しました。この正当化事由は日本でも一定の支持をもって語られることがあります。これらを国際法から見た場合、どのように考えられるのか、その一部を考えてみたいと思います。

開催形態：**対面&オンライン研究会**

対面会場：**至徳館303会議室**

主催：**立命館ピース・ネットワーク**

参加申込方法：<https://questant.jp/q/23PEACE03>

① 上記URLもしくはQRコードから参加申込

⇒ **申込締切 11/6(月)正午まで**

② 6日午後Zoomの参加URLを送付

⇒ **申込時記載のメールアドレスに送付します**



## ■9月の公開学習会のご報告■

9月29日(金)に市井吉興さん(産業社会学部教員)より「国際平和ミュージアムのリニューアル展示の見どころ」をテーマに報告をいただき、第2回学習会を開催し、27名の方にご参加いただきました。報告内容は以下のとおりでした。

1. 立命館大学国際平和ミュージアムの開館から第1期リニューアルまで

2. 第2期リニューアル検討の経過

3. リニューアル後の展示について：年表展示、テーマ展示について以下の方向性を踏まえて展示

①問題意識を喚起する展示、つまり、展示資料を通じて、来館者に「なぜ」という問いを喚起し、事後学習やワークにより来館者の主体的な学習に繋がる展示

②歴史叙述の発送の見直し、つまり、「戦争」という事象を多角的に理解し、現代に向けた課題を汲み取ることができる展示を目指す。

※立命館ピース・ネットワークは、「平和と民主主義」を教学理念とする立命館大学において、様々なテーマについて意見交換をすることを目的としたネットワーク組織です。(世話人：勝村誠(政策科学部教授、コリア研究センター長)、君島東彦(国際関係学部教授、国際平和ミュージアム館長)、小松浩(法学部教授)、佐野芳尚(経営学部事務室)、澤田博昭(生命科学部事務室)、清水郁子(教職員組合)、山崎文徳(経営学部教授、教職員組合副委員長))